

平成29年度 多摩区地域課題対応事業一覧表

平成29年度多摩区地域課題対応事業費予算額 69,613千円

I 賑わいと魅力あるまちづくり事業費 23,200千円 (◎は新規事業、○拡充事業)

	事業名 【担当課】	事業概要
1	観光振興・タウンプロモーション推進事業 ※区民会議関係  13,345千円 【地域振興課】	自然や文化施設といった区の豊富な地域資源を活用し、区民や多摩区観光協会をはじめとする多様な主体との協働により、区の魅力をその内外に積極的に発信し、集客力の向上、地域の活性化につながる取組を進め、住み良い、賑わいと魅力あるまちづくりを推進する。 (1)多摩区の魅力を発信し、区内への誘客を促進する取組 (2)区民のアイデアにより区を活性化させる取組 (3)地域資源のPR (4)地域観光活性化支援 (5)地域の賑わい創出
2	音楽による区の魅力発信・地域交流創出事業  4,065千円 【地域振興課】	市の取組である「音楽のまち・かわさき」を多摩区においても推進することで、区民が音楽芸術に身近に触れる機会と地域の音楽家が日頃の成果を発表する場を提供する。また、音楽を通じて区の魅力をアピールするとともに、区民を主体とする地域コミュニティの促進と文化活動の活性化を図る。 (1)「生田緑地ピクニックコンサート」の開催 (2)「たま音楽祭」の開催 (3)「たまアトリウムコンサート」の開催 (4)「日本民家園50周年記念コンサート」の開催
3	多摩区スポーツフェスタ事業  1,500千円 【地域振興課】	地域のスポーツ推進を図るため、誰もが参加でき、気軽にスポーツを楽しむことができるスポーツ行事「多摩区スポーツフェスタ」を開催する。 スポーツに親しむ機会の提供と、優れたスポーツ選手との交流を通じて、地域のスポーツ活動の促進を図るとともに、スポーツセンターをはじめスポーツ推進委員会や総合型スポーツクラブなどの各種団体との連携や区民同士の交流を図り、スポーツを通じたまちづくりを進めることを目的とする。 また、2020年に開催予定の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、スポーツフェスタの開催種目に障害者スポーツの体験等を取り入れることにより、区民の関心を高めていくことも併せて実施する。
4	登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区賑わい継承事業  1,000千円 【企画課】	登戸土地区画整理事業により大きく変貌する地区の状況を踏まえ、区の中心市街地である登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の賑わいを引継ぎ、さらに発展させることで、魅力あるまちづくりや暮らしやすさの向上を図る。 平成29年度は、基本方針に基づき、デジタルアーカイブ（写真等の電子的な記録・活用）を、外部サーバを利用したホームページを活用しつつ、引き続き更新するとともに、資料収集・整理・蓄積・保存を効率的に実施。資料のデータを広く公開することで活用が促進される。協働推進の基本方針をふまえ、賑わいづくりなどに関するワークショップを行う。
5	多摩区エコロジーライフ事業 ※区民会議関係  429千円 【企画課】	区民がエコロジー（自然環境保護、地球温暖化防止）に、家庭（日常生活・ライフ）で身近に取り組める地球温暖化防止策を紹介するなど、市民活動団体等との協働による地球温暖化緩和策を推進する。 (1)緑のカーテン大作戦の実施 (2)リユース食器の使用による3R普及啓発 (3)小学生向けエコ関連啓発イベントの実施 (4)地球温暖化対策パネル展の実施 (5)家庭からの使用済みてんぷら油の回収 (6)エコの取組の広報
6	水辺の愛護活動事業  149千円 【地域振興課】	市内はもとより、他都市からも多くの人々が訪れる歴史的な環境資源である二ヶ領用水を育み、憩える緑豊かな水辺の空間づくりに寄与するとともに、区民の環境愛護活動を推進するため、町内会・自治会をはじめ地域関係団体で河川敷のごみ回収など、清掃・愛護活動を協働で実施する。
7	自然体験のつどい実施事業  850千円 【地域振興課】	区内の青少年をはじめ区民に、自然の豊かさや大切さを認識し、郷土への理解と愛着を深めてもらうことを目的として、ネイチャーゲーム（自然体験プログラム）や自然の材料を活かしたおもちゃづくり等の催しを生田緑地において開催し、区民が自然とふれあい、学び、感じられる機会を提供する。

	事業名 【担当課】	事業概要
8	多摩川環境啓発展示事業 779千円 【地域振興課】	「水と緑と学びのまち・多摩区」の象徴ともいえる「多摩川」に生息する淡水魚等を飼育管理し、区民が自然や生物に身近に親しむ機会を提供するとともに、多摩川への愛着を深め、環境意識を啓発する。
9	多摩まちかど祭開催事業 823千円 【地域振興課】	区民相互のふれあいと地域の活性化を目指して、区民一人ひとりが舞台運営の担い手となるステージショーを区民祭の会場で開催する。 地域に根ざしたより身近な場所で舞台公演することによって、区民に文化芸術の発信、交流、鑑賞の場を提供し、地域コミュニティの形成を図る。
10	区民祭開催経費 260千円 【地域振興課】	区民一人ひとりが担い手となる祭りを通して、心温かい地域コミュニティを作り、暮らしやすい快適なまちづくりを推進することを目的に区民祭を開催する。

## II 安全・安心まちづくり事業費 5, 528千円 (◎は新規事業、○拡充事業)

	事業名 【担当課】	事業概要
1	市民防災活動支援事業 560千円 【危機管理担当】	災害時の地域防災活動の中心的役割を担う多摩区自主防災組織連絡協議会が中心となり、防災フェア、防災講座等を開催することで、区民の防災意識の醸成や地域の災害対応力を強化し、地域防災力の向上を図る。
2	多摩区危機管理事業 2,378千円 【危機管理担当】	災害による区内の被害を軽減するため、多摩区防災連絡会議を通して、関係機関との取組の強化と情報の共有を図る。また、災害対応の拠点となる区本部や避難所等において、的確で迅速な災害対応を行うために必要な備品等を整備するとともに、多摩区役所防災力向上ハンドブックを活用した、職員防災研修を実施する。
3	多摩区安全・安心まちづくり推進事業 1,272千円 【危機管理担当】	安全で安心なまちづくりを推進するため、区民・地域、警察、消防、行政が連携し、防犯、防火、交通安全、放置自転車対策等の活動に取り組む推進体制を整備する。地域が一体となって、犯罪発生を抑止や交通安全意識の普及、交通マナーの向上を図る。 (1)防犯・防火・交通事故防止・自転車放置防止のための路面標示や啓発看板・電柱幕の設置 (2)安全・安心に関するイベントやキャンペーン等における啓発活動の実施 (3)犯罪被害防止等を目的とした防犯出前教室や防犯セミナーの実施
4	自転車利用マナーアップ促進事業 ※区民会議関係 1,172千円 【危機管理担当】	中学生・高校生や地域住民を対象にスケアード・ストレート方式交通安全教室を実施し、安全で確実な自転車の乗り方等、ルールとマナーを習得させ交通事故抑止を図る。また、小学生に交通安全標語を募集し、優秀作品を地域に掲出することで地域住民の交通安全意識の向上を図る。 (1)スケアード・ストレート方式交通安全教室の実施 (2)区内小学生を対象とした、交通安全標語の募集及び優秀作品の看板作成・設置
5	多摩区動物愛護推進事業 1,460千円 【衛生課】	学校・地域・家庭へ動物愛護思想を浸透させ、動物の飼養上発生する様々な問題解決へと繋げることにより、人と動物の調和のとれた共生社会の実現を図る。 (1)区内小学校低学年向け「いのちの授業」の実施 (2)「どうぶつ愛護フェアinたま区」「動物愛護パネル展」の開催 (3)動物愛護・適正飼養のための講習会の開催

Ⅲ たまっ子を育てるまちづくり事業費

12,105千円

(◎は新規事業、○拡充事業)

	事業名 【担当課】	事業概要
1	多摩区幼・保・小連携事業  287千円 【地域みまもり支援センター】	子どもの育ちや一人ひとりの子どもの成長を一体的に支援するために、区内の幼稚園・保育所等・小学校が連携を図り、情報交換のための連絡会の開催や保育実習等の実施により支援体制づくりを進める。
2	幼児の発達支援事業  1,686千円 【地域みまもり支援センター】	子どもの精神及び社会性の発達に関する不安や育てにくさを感じている保護者に対し、子どもの発達を促す支援と保護者の育児不安及び育児負担の軽減を図るための支援を行う。 1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査後のフォローとして、グループダイナミクスを活用した事業（「プーさんキッズ」、「たま遊びの会」）と3歳児健康診査個別相談事業を実施する。
3	たまたま子育てまつり開催事業  469千円 【生涯学習支援課】	多摩区で安心して子育てができる地域の環境づくりと生涯学習推進を目的として、子育て支援団体、市民グループ、関係行政機関等の協働により、情報ひろば、親子で学び・遊べる機会、子育て相談、子育てサークルの活動紹介などの各種イベントや情報提供等を内容とした子育てまつりを開催し、区民の交流できる場、学びの場を総合的に提供する。
4	多摩区子育て支援パスポート事業  614千円 【地域みまもり支援センター】	区商店街連合会と協働し、区内の妊娠中の方と18歳未満の子どもがいる家庭への支援と声かけ・見守りにより、地域でのコミュニケーションを高め、地域社会が一体となって子育てを支援するための取組とするとともに地域の活性化を図る。 対象家庭に対して、希望に応じて子育て支援パスポートカードを交付し、協賛店利用時にカードを提示することで各店独自の特典等のサービスを受けられる。その仕組みを推進するための、カード発行、手続き案内、協賛店の取りまとめ、普及のためのPR事業等を行う。
5	多摩区こども・子育て情報収集・発信事業  1,565千円 【地域みまもり支援センター】	親の育児不安の軽減及び地域子育て支援体制へ繋げる機会として、子育て家庭のニーズに応じて多様な情報提供を行う。また、市民活動支援・コミュニティの活性化を目指して広報面での活動支援を行う。 具体的には、地域子育て情報ブックや子育て応援冊子等の作成及び配布、地域子育て情報を掲載したホームページの運営、掲示板やちらしコーナーでの情報提供を行う。
6	多摩区こども総合支援推進事業  2,832千円 【地域みまもり支援センター】	区内のこども・子育てに係る関係機関・市民活動団体等と行政等実施機関のネットワークを形成し、相互の連絡調整機能の強化を図る。また、地域の子育て支援団体や関係機関等と「多摩区こども総合支援連携会議」を開催し、区内の子育てに係る課題の共有や施策事業の検討等を通して、合意形成のもと「たまっ子プラン」に基づき、地域全体で子育て支援に取り組む地域づくりを推進していく。
7	子ども・子育て支援推進事業  1,484千円 【地域みまもり支援センター】	子どもの健やかな成長を図るための支援、保護者が安心して子育てできるための支援、子育てで人が繋がらう地域づくりを推進する。 (1) 「ママとあそぼうパパもね」事業 (2) 地域子育て支援事業 (3) 玩具貸出し事業 (4) 民間連携・人材育成関連事業
8	子育て支援人材育成事業  1,912千円 【地域みまもり支援センター】	地域の様々な子育て支援活動に係る支援者を養成することを目的として支援者養成事業を実施する。養成講座として子育てや支援活動に関する学習機会を提供するとともに、区内の様々な子育て支援活動の紹介及び体験実習、情報提供等を行う。 (1) 子育て支援者養成講座 (2) 2・3歳児の親子ひろば事業 (3) こどもの外遊び交流事業
9	地域子育て力向上事業  1,256千円 【地域みまもり支援センター】	保健師等が地域の方々と共に、子育て中の親子が気軽に集まれる場である「地域サロン」等を開催し、集団遊びやグループワークを通して子育ての楽しさを体験する。また、子育て中の親子の交流や地域の方々との交流を推進する。

## IV 地域福祉・健康のまちづくり事業費

6, 863千円

(◎は新規事業、○拡充事業)

	事業名 【担当課】	事業概要
1 ○	地域包括ケアシステム 推進事業  5,588千円 【地域みまもり支援セ ンター】	誰もが住み慣れた地域や本人の望む場で安心して暮らし続けることができるよう「地域包括ケアシステム」を推進する取組を実施する。 (1)多業種ネットワーク団体等と連携し、区民を対象とした講座を通じ、広く区民に「在宅療養/在宅介護」をはじめ、「地域包括ケアシステム」の普及啓発を行う。 (2)「地域包括ケアシステム」構築のため、昨年モデル事業の取組により得られたノウハウを他地区へ展開する。 (3)「地域包括ケアシステム」啓発用パンフレット等を作成し、地域における普及啓発に努める。 (4)増加する認知症への理解を深め、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができる地域づくりを推進するため、小学校高学年を対象とした、認知症サポーター養成講座・中学校（モデル校）を対象とした認知症講演会を実施する。 (5)地域の多様なニーズに対応するために、地域福祉の推進を図ることが求められており、これらの担い手として期待されるシニア世代が、これまでに培った経験・知見を活かし、積極的に地域活動に参画できるよう、リーフレットを作成・配布する。
2	健康づくり推進事業 ※区民会議関係  953千円 【地域みまもり支援セ ンター】	多摩区の地域資源を活かした特色ある事業を実施することで、幅広い世代の交流を促しつつ、生涯にわたる健康づくり及び食育に対する知識の普及啓発、意識向上を図る。 (1)健康づくり普及啓発イベント「多摩区健康フェスタ」の開催 (2)健診受診意識の向上及びセルフケアの啓発のためのリーフレットの配布、食育啓発のためのポスター作成および掲示 (3)健康づくり活動の場づくり (4)小学校の特別授業における食育支援からの歯科健康教育事業の実施
3	パサージュたま開催 事業  117千円 【地域みまもり支援セ ンター】	多くの区民に障がい福祉への理解と関心を深めてもらうとともに、障がい者が地域社会とのつながりを持つことを目的として、年間11回（8月のみ実施せず）、区役所総合庁舎アトリウムを利用して多摩区内の障がい者団体並びに生活支援や就労支援を行っている障がい者施設及び作業所等の普及啓発活動（活動紹介、作品の展示販売、作業実演、相談等）「パサージュ・たま」を開催する。市政日より、区ホームページ、チラシの配布等により広報を行う。
4 ○	精神保健普及啓発事業  205千円 【高齢・障害課】	多摩区の精神保健福祉活動の関係機関のネットワーク構築と地域における精神保健福祉分野の課題に取り組む場として、多摩区精神保健福祉連絡会議を設置し、疾病予防や疾病の理解を深めるための講演会を実施することで、メンタルヘルスに関する普及啓発を行う。

V 市民自治を進めるまちづくり事業費

14,684千円

(◎は新規事業、○拡充事業)

	事業名 【担当課】	事業概要
1 ○	多摩区地域人材育成事業 2,396千円 【生涯学習支援課】	市民活動団体等において新しい人材の確保が困難になっていることや、また、行政との協働事業等の担い手が固定化している現状を踏まえ、「多摩区地域人材育成基本方針（平成25年度策定）」をもとに新たな地域人材の発掘と育成を推進する。 広報の充実を図りながら、地域人材・団体の登録募集や、地域人材や区役所職員に対する研修事業を継続していくとともに、「多摩区地域人材育成基本方針」の見直しと、市民活動活性化に向けたモデル事業を実施する。
2	多摩区・3大学連携事業 2,478千円 【企画課】	区内に3つの大学（専修大学・明治大学・日本女子大学）が立地するという地域特性を活かした魅力あるまちづくりを推進するため、大学と地域の交流・連携を図るとともに、地域の様々な課題の解決に向けて、大学と連携した取組を実施する。 (1)多摩区役所と区内3大学で構成する「多摩区・3大学連携協議会（平成17年12月設立）」の運営・開催 (2)大学・地域連携事業の実施 (3)「多摩区3大学コンサート」の実施（11月11日（土）） (4)インターンシップの実施（8月25日～9月11日） (5)「生田緑地エントランススポット」の維持管理 (6)知的探訪の実施（6月24日（土））
3	区民との協働によるまちづくり活動実践事業 3,700千円 【地域振興課】	区内の市民活動団体のまちづくりに関する活動に対する支援、並びにまちづくりに関する課題の提起及びその解決のための実践を、区民が主体となって区と協働して行う。
4	地域コミュニティの活性化促進事業 1,000千円 【地域振興課】	未加入世帯の増加、役員の後継者難といった、各町内会・自治会が抱える課題を的確にとらえ、その解決のための支援策について検討、実施することにより、町内会・自治会活動の振興、地域コミュニティの活性化を図る。 (1)町内会・自治会の活動の情報発信のためのホームページの更新 (2)町内会・自治会の加入促進のための印刷物の作成 (3)町内会・自治会の加入促進のための講演会の開催
5	磨けば光る多摩事業 2,211千円 【企画課】	多摩区における地域課題の解決や、安全で安心・潤いのある暮らしの実現に向けて、市民活動団体が自主的、主体的に実施する公益性の高い活動提案を募集し、選定されたものを川崎市の事業として位置付けたうえで、提案者に委託する。 区民の自主的・主体的な事業を促進することで、生活者目線での身近な地域課題の解決を図るとともに、区民の地域への関心を深め、市民自治による魅力あるまちづくりを推進する。
7	市民活動支援事業 2,145千円 【地域振興課】	区民や市民活動団体が自発的、継続的に参加し、第三者や社会の課題解決に貢献する営利を目的としない活動の、自発的かつ自立的な発展を支援するために、印刷や資料づくり等に必要な備品等を備えた「多摩区民活動・交流センター」を多摩区総合庁舎及び生田出張所に設置し、登録した団体及び個人に対し、利用開放する。運営にあたっては、利用受付業務を区民活動・交流センターの利用団体を主体とする運営委員会と協働で行い、団体間の交流と相互支援を促進する。
8	公園を拠点としたコミュニティづくり推進事業 ※区民会議関係 754千円 【道路公園センター】	地域の貴重な資源として、身近な公園を今まで以上に地域のコミュニティの拠点として活用することで、高齢者のいきがづくりや子育て世代への支援策を促進する一助とする。区内の公園2か所に情報掲示板を設置し、地域のつながりやコミュニティ形成に活用する。 (1)情報掲示板の設置

VI 地域課題対応事業その他経費 1,648千円 (◎は新規事業、○拡充事業)

	事業名 【担当課】	事業概要
1	共通事務経費 1,648千円 【企画課】	地域課題対応事業費の共通事務経費

VII 区役所サービス向上事業費 585千円 (◎は新規事業、○拡充事業)

	事業名 【担当課】	事業概要
1	窓口サービス改善推進事業 585千円 【区民課】 【総務課】	平成16年度に区民課においてISO認証取得以降、市民の求める質の高い窓口サービスを継続的に維持していくため、区をあげて窓口サービスの向上を図る。 (1) 窓口発券機システムの維持管理 (2) 庁舎案内表示の整備

VIII 区の新たな課題即応事業費 5,000千円 (◎は新規事業、○拡充事業)

	事業名 【担当課】	事業概要
1	区の新たな課題即応事業 5,000千円 【企画課】	区の機能強化の取組の一環として、年度途中に発生した新たな課題に、区長の権限で適切かつ迅速に対応を図る。

(歳入)

VI-1 共通事務経費 寄付金 1,000円 (充当先: 共通事務経費)

【参考】

※平成27年度地域課題対応事業費決算額	60,681,907円 (局区連携事業含まず)
※平成26年度地域課題対応事業費決算額	53,931,407円 (局区連携事業含まず)
※平成25年度地域課題対応事業費決算額	51,368,901円 (局区連携事業含まず)
※平成24年度地域課題対応事業費決算額	50,837,096円 (局区連携事業含まず)
※平成23年度地域課題対応事業費決算額	47,439,207円 (局区連携事業含まず)
※平成22年度協働推進事業費決算額	39,752,309円
※平成21年度協働推進事業費決算額	43,681,392円
※平成20年度協働推進事業費決算額	44,451,522円
※平成19年度協働推進事業費決算額	48,341,603円
※平成18年度協働推進事業費決算額	43,394,959円
※平成17年度魅力ある区づくり推進事業費決算額	45,792,352円
※平成16年度魅力ある区づくり推進事業費決算額	47,455,064円